期競吟大会、集い、初吟会、そし

本部指導部の古賀千翔先生に、 会の最大の行事「集い」では、総 て年六回の研修会など。その中で 事終了しました。総会、

前期・後

員皆さんのご協力のおかげで無

さて、二十九年度の諸行事も会

難を乗り越え、全力でプレイして に向けて努力し、怪我や諸々の苦

いる姿に感動をもらいました。

鹭蚂吟詠

発 行 公益社団法人 公認鷺照吟詠会

楽しく、 健やかに

関西吟詩文化協会

長 取

ニックまで、大変魅力的なお話 グループのリーダーでもありま 賀先生は、吟士権者であり秀詠 うございました。 九十分間でした。古賀先生、 に一同引き込まれ、笑いと感動の す。発声の基本から吟詠のテク 特別講演をして頂きました。古 「吟詠上達法」というタイトルで 有難

した。 絆が深まった、素晴らしい大会で 参加しました。伊豆丸鷺洲先生の 周年記念大会が盛大に開催さ 孫鷺と引き継がれ、白鷺の会員の 遺訓「和と奉仕の精神」が子鷺・ れ、本会からバス二台、七十名が また、白鷺連合会創立五十五

本の選手が大活躍をしてくれま が開催され、羽生選手をはじめ日

した。四年に一度のオリンピック

が美しい春が廻ってきました。今

韓国の平昌でオリンピック

ようやく冬も終わり、

木々の緑

発表します。バス二台八〇名が参 カイックホールで開催されます。 開催されます。岡山は、近畿地区 中国、四国、 八十五周年大会が、東海、 「真金ふく吉備の国」の構成吟を の参加となり、十月に尼崎アル 平成三十年度は、 九州の全国五箇所で 総本部創立 、近畿、

照 月現在、会員が二三六名になり う」と呼び掛けました。御陰で三 に声をかけ詩吟に誘ってみましょ 発展・詩歌吟詠の普及のため、ご 名ありました。皆さんのおかげで ました。一年間で新入会が三十 尽力よろしくお願いします。 三十・三十一年度の二年間、 しました。役員になられた先生、 が総会で行われ、新役員が決定 吟詠会も岡山県連合も役員改選 てご参加ください。今年は、鷺昭 の足跡を訪ねる旅をします。奮っ 皇と伯耆の国の豪族「名和長年」 六月に計画しています。後醍醐天 また、久しぶりに「吟行会」を 最後に、昨年、「身の周りの人 、会の

と思います。一年間ご支援ご協力 に」をスローガンに、そして「一 今年も「仲良く、楽しく、健やか をよろしくお願い致します。 会員を目指して頑張りましょう。 教室あります。一教室一名の新入 現在、本会は十二支部・二十六 一縁」吟の輪を広げてゆきたい

役員改選のお知らせ

度及び三十一年度の鷺照吟詠会 照吟詠会理事総会並びに岡山県 役員並びに岡山県連合会役員が 連合会総会において、平成三十年 平成三十年三月二十五日の鷺

> 左記の通り選出されました。 ■鷺照吟詠会 役員

> > 副

会

長

内田

菖照

(岡山有朋)

談

副会 会 長 長 大取 鷲照 繃照

事務局長 " 〃次長 内田 内田 轟声 菖照 菖照 (中山) (有朋) (有朋

内田 鷺丘 菖照 (総楽 (有朋

武川 琥照 霞照 (岡南) 北

鷲照 中山

繃照 瞳伸 (岡南) (梢雲)

新

企画理事 石田 燃照 瞳伸 (有朋) (梢雲)

す。有難うございました。

木谷 睨秀 (有朋)

池上 醒照 駿照 (有朋) 中山

新

田辺 慧照 (総楽) (梢雲)

轟声 駿照 (中山) 中山 新

会計監査 会計理事 亥照 瞳伸 (吉照 (梢雲)

青年部長 睨秀 霞照 (有朋 北

■岡山県連合会 役員

相 会 談 役 片山 大取 鷺丘 鷲照 (岡山総楽) (岡山中山

役 厳照 (江陽

事務局長・会計

多田

葦照

(岡山有朋)

指導部 〃理事 鈴木 睨照 厳翔 (江陽) 中山 (梢雲) (岡南 新 いて開催された白鷺連合会創立 周年記念大会に参加さ 白鷺連合会創立五十五 (日) 高槻現代劇場大ホールに於 平

岡山からは約三十名の方々と共 にバスで参加した。 当日は小雨交じりであったが、

五十五周年記念吟詠大会へ参加

·成二十九年十月二十九日

有朋支部

石田

隆

して

クは真正面の前列という素晴ら 加ということで、我々岡山ブロッ 正面には伊豆丸鷺洲先生の遺影 しい席で大会を観賞することがで も掲げられていた。岡山からの参 高槻現代劇場大ホール入り

をぜひ、 声と拍手が鳴り止まなかった。白 成」を吟じた。また、岡山大学吟 を、女性が夏目漱石の「春日偶 して男性が松平春嶽の「偶成」 鷺連合会としてもこの若い人たち 力強い吟詠に会場からは感嘆の には参加してくれ、会員吟詠の冒 詩部の学生たちもこの記念大会 会員吟詠では、岡山ブロックと 「城山」を吟じてくれた。 大切に育てていきたいも

役員吟詠や来賓吟詠に続い

えられた見応えのある構成吟で 名の出吟者の素晴らしい吟に支 どの」を吟じられた。総勢四十五 という内容だったが、鷺照吟詠会 生の生涯を、吟を通じて振り返る み」が演じられた。伊豆丸鷺洲先 あった。 訟」を、大取会長が和歌「いかほ からも空さんと内座さんが「自 特別番組構成吟「まりばさ

の絆を確かめる大会であったと思 の中帰途についたが、白鷺連合会 感動に身を包まれながら、小雨

周年記念吟詠大会に参加して 白鷺連合会・青年部創立五十

崎のアルカイックホール め諸先生方、総本部より来賓の にて、白鷺連合会の松尾会長はじ 平成三十年二月十八日(日)尼 中山支部 木南 オクト 春樹

来る限り参加致しました。 ないと、大阪での合同練習には出 みなさんの足を引っ張ってはなら 催されました。 立五十周年記念大会が盛大に開 先生方、各地から青年部会員及 参加して、白鷺連合会・青年部創 びOB会員総勢約二百七十名が

る中での参加でした。 リティーコンサートと日程が重な した。当日は、鷺照吟詠会行事 リートチャイルド支援事業・チャ としての西川アイプラザでのスト 含めて合計十四名が参加致しま 山大学吟詩部から十名と、私を 坂本副会長・河田理事、そして岡 当会からは、大取会長はじめ

た。

と吟程度で安請け合いをしていた 持つなど身に余る栄誉を頂きま きました。私も安禄山役を拝命 頂き、大いに舞台を盛り上げて頂 ならず青年部OBの友情出演を の大会でした。中でも記念企画と 吟詠など、実に内容盛りだくさん のですが、まじめに合同練習に参 し、劇にそして六行詩の吟も受け 女』は関西を中心に青年部員のみ しての構成吟『楊貴妃~傾国の美 化協会総本部の吟士権者の模範 青年部長の紹介や、関西吟詩文 した。当初はセリフのない兵士役 記念大会に相応しく、歴代の

らず兵士役と仙女役を見事にこ 学生たちもぶっけ本番にもかかわ 何とかミスなくこなすことができ という優しいアドバイスを胸に、 ました。また、岡山大学吟詩部の 言うよ」、「とにかく楽しんで」 会長の「合同練習の回数がモノを

多 田

昇市

これ二十年来の付き合いですが、 下さったのは有難かったです。 たにも関わらず、快く受け入れて 私自身何年間かのブランクがあっ 白鷺青年部のメンバーとはかれ

かないと思いま も「青年部」と ました。いつまで 生・諸先輩に温 いうわけにはい かい言葉を頂き



なテーマとなっ の吟を磨くかと け、いかに自分 た、大変意義深 いうことが大き い大会でした。

かったという次第です。とにかく

加しているうち、ついついおだて

られてセリフもある大役を仰せつ

なし、その適応力に驚かされまし

尾会長はじめ伊東相談役他、諸先 して懇親会で更に盛り上がり、松 記念大会終了後は、場所を移



全国吟詠大会二十九 大会in奈良に参加して 有朋支部

近畿

参加しました。 岡山地区からは総勢二十七名が 二十九近畿大会in奈良」となり 合会だったため、「全国吟詠大会 して吟詠大会が開催されまし ルで吟詠普及推進事業の一環と 年ぶりに大東市のサーティーホー た。当大会は主管が奈良地区連 平成二十九年十月十四日、二

吟詠、他流派優秀者吟詠、主管 ました。 あり、また吟力に驚くこともあり のあどけなさがほほえましくも 庸」を、女性は「白帝城」を合吟 会長吟詠、構成吟「天璋院篤姫」 地区役員によるミニ構成吟、各会 ロック吟詠、新師範吟詠、幼少年 の七部構成となっていました。地 しました。幼少年吟詠では子供達 区吟詠では岡山地区の男性は「中 大会は大きく分けて、地区ブ

つきました。

の養女・近衛家の娘として徳川家 吟「天璋院篤姫」です。島津斉彬 の道」では六百年以上の昔に思い を打ったように静まり返りまし ものの、張りのある声に会場は水 独吟は、多少の吟法の違いはある 定に輿入れし、一度も薩摩に帰る を寄せるものでした。圧巻は構成 た。続いてのミニ構成吟「吉野へ 他流派優秀者の先生方による

> ことなく徳川の人間として振舞 己れ遂に詩中の人となる、これを ばらしい吟詠、見事なまでの剣詩 り。この言葉をかみしめて帰路 同化という。吟詩の妙味ここにあ 油然として其の心に生じ来りて、 じることは、関西吟詩の巻頭言の 部主催の全国大会に参加して感 たものでした。長時間の大作も 幕末の騒乱の舞台を見事に描 争を経て江戸城無血開城に進む 桜田門外の変に始まり、戊辰戦 ターの語りかけは演技を通り超 舞、そして天璋院篤姫役のナレー 言葉です。詩中の景、詩中の情、 感動の一瞬といえます。いつも本 して引き込まれてしまいました。 企画・構成もさることながら、す 女性の一生を描いたものでした。 い四十七歳という若さで旅立った

岡山地区吟詠研修会開催岡山県連合会総本部主催 平成二十九年度

は新人・初級の部への出場者の声 は総本部地藏会長を筆頭に、小坂 による競吟大会を、また午後から 労働福祉事業会館で、午前中に岡 修会を開催しました。競吟大会で 生方にご来岡頂き岡山地区吟詠研 永舟、藤本曙冽、 山県連合会会員五十六名の参加者 平成二十九年八月二十日、 小嶋峰翔の各先

の砂」を好きだという事。

中でも、千鳥は冬の釧路の海岸

折の歌人(敢えて)啄木の「一握 詩だろう、と思った事。加えて夭

(3)

な解釈ですが、千鳥は作者自身 にはいないという事実。私の勝手 の響きが特に新鮮でした。

戦を制した方々の声をお聞きく りました。競吟大会で活躍し激 模範吟詠と中身の濃い内容とな 声のメカニズム、小嶋先生による る吟詠指導、藤本先生による発 生による漢詩解説、小坂先生によ ・詠研修会では、 片山鷺丘先 が過ぎて行きました。特に作者の いのか分からないまま、時間のみ 難しい事か。どう表現したら良 の色までも見えて来る様です。

「これに決めた」と思いました。

唄いはじめてみて、千鳥の何と







もって良く解りません。

の「あ」の母音の終わり方は、今 心象風景だと思う「冬の月かな」



や十三年が過ぎようとしていま う次第です。 い、大取先生に御指導頂いて、早 平成十六年に再度詩吟と出合

に感謝です。 が、「やっとトロフィーが貰えた は?」と聞いてくれていました つも快く送り出してくれる家族 んだね」と喜んでくれました。い いつも主人が「今日の成果

ドバイスを頂いて、当日何かしら 頂いた時、 に思い切って発表出来たように思 ていました。最後の練習日に「軽 います。成績発表で名前を呼んで フッと気持ちが軽くなり、 様に行かず焦ったり悩んだりし い気持ちで肩の力を抜いて」とア お稽古する中で、なかなか思う 一瞬耳を疑いました。 、私なり

て寒々とした冬の海岸、青白い月 した。小さな千鳥を置く事によっ だったのではないかと思えるので これもひとえに今迄色々御指導 す。 頂いた先生方の御陰と思っていま 本当に感謝で一杯です。

れからも宜しく御指導下さいま けていきたいと思っています。こ す様お願い致します。 く楽しく健康に留意しながら続 これからも教室の皆様と、明る

上級の部 岡南支部 青木

耕

ではありませんが、ひとつの課題 として長く苦しんで行きたいと思 もちろん、納得のいく歌の出来 けは、 悩みました。 でおりましたので、復帰するのを に御指導を受けて頑張っていまし に進みました。最初は、武川先生 たが、仕事の都合で長い期間休ん 私が詩吟を習い始めた切っ掛 坂本先生のお誘いでこの道

命練習に打ち込みました。 先生の特訓が始まり、私も一生懸 起こして頑張っていこうと思い、 打たれて、もう一度気持ちを奮い しかし、坂本先生の熱い情熱に

ました。先生の特訓のお蔭だと思 の名前が一番に呼ばれたので驚き 連合会競吟大会で、今回は中庸 行こうと思います。 磋琢磨して、精進を重ね頑張って で一緒に勉強をしている仲間と切 いました。これを機に、益々教室 を吟詠しました。発表があり、私 そして平成二十九年度岡山県

らと」に魅了された訳を、少し思

数題ある歌題の中でも「しらし

い出してみました。

「しらしらと」何と美しい日本

いました。

この度は本当に有り難うござ

中山支部

大倉美恵子

和歌一・二部

を戴き、感謝申し上げます。最後 方の御指導がありこのような賞 坂本先生始め、諸先生・諸先輩

> て頂き、有り難う御座いました。 に、長い時間競吟大会の審査をし

> > に、日々精進して参りたいと思い

準師範の部

せていただきました。

けたような声しか出ないので、こ と程遠く、思うように声が出ませ 三行目の「碧天に向かって」の句 のみという強い気持ちで臨みまし ともしばしばでしたが、練習ある ました。声を出す度に落ち込むこ れでは、この詩の月夜の美しい光 が自分の思い描いていたイメージ 練習を重ねて来ました。しかし、 私が長年、吟じてみたい詩の一つ ん。音程は定まらず、喉を締め付 だったので、昨年末より少しずつ 景を崩してしまうなあ、と後悔し

で頑張ったつもりです。 にも挑戦しようという意気込み いますが、自分にとって苦手な音 を選ぶ方が、やはり得策だとは思 競吟では、よく慣れ親しんだ詩

となく、吟力を高めていけるよう ず、少し心残りがありましたが、 という気持ちで吟じました。私自 き、本当に有り難く感じています。 身は、余り満足のいく吟が出来 審査の先生方には評価していただ これからも結果に満足するこ

ます。



二年ぶりの競吟大会に参加さ 富美子

今回の「月夜三叉口泛舟」は、

大会当日は、「成るように成る」

平成二十九年度

「鷺照吟詠会の集い」を振り返って

天神山プラザにおいて平成二十九 れやかに開催されました。 年度の【鷺照吟詠会の集い】 平成二十九年十一月二十三日に 中山支部 木南 春樹

かも時間という最大の制約条件 つつ、新しい企画を盛り込み、し は、今までのプログラムも活かし を企画致しました。企画段階で じた【牡丹花悲聞】―楊貴妃と玄 でのストリートチャイルド支援事 り、二月十九日に西川アイプラザ しての講演、及び模範吟の披露 協会総本部の有名吟士をお招き 宗―の再演。また、関西吟詩文化 業・チャリティーコンサートで演 今回は会員の皆様の要望もあ

をクリアするための侃侃諤諤の議 論もありましたが、役員はじめ会 うで、詩吟上達は一朝一夕とはい 員の皆様にご理解とご協力とに かないことは重々承知しつつ、と 時間をオーバーする盛り上がりよ 先生をお招きしての講演は、予定 よりスムーズにしかも時間内に盛 てもためになる内容でした。 した。特に総本部より古賀千翔 会裡に無事終えることができま

等の事前情報をお聞きすること 生の御配慮により、舞台準備につ 頃の練習の成果が十分に発揮さ が図られたと思います。 いて、マイクの必要数や立ち位置 日間近ではありましたが中山先 れたものと感じました。また、当 部の発表内容は充実しており、日 によってスムーズに進行でき改善 あくまでも私見ですが、各支

あったと思います。 熱気溢れる素晴らしい「集い」で きた感じはありましたが、場内は 例年になく寒さが早くやって

力誠にありがとうございました。 会員の皆様、役員の皆様ご協

> の皆様、役員の皆様、ご協力のほ ていけたらと思いますので、 どよろしくお願い致します。 来年も更なる内容充実を図っ 会員









チャリティーコンサート出演 岡山大学吟詩部三回生

役」。とても驚き、嬉しかったで は裏方として参加させていただ れまでチャリティーコンサートに 構成吟参加のきっかけでした。こ 標題のEメールが届いたことが、 コンサート出演について」という いていましたが、何と今回は「主 私にとって初となる演者としての 木谷師範から「チャリティー

という思いはありました。しか 郎」を行ってもよいのだろうか、 験はなく、いきなり主役の「桃太 私は今まで、演者としての経

> ど、 ステージの上に立つこととしまし りも自分の中にあった「きっとこ せられてしまっていたこと、何よ のになる」という確信に導かれ、 の経験は自分にとって大切なも 今までの構成吟にすっかり魅

る」という確信を得ることができ が至ったとき、「きっとこの経験 きていたか」・・・そこまで考え 囲の反応ばかりが頭の中になかっ は自分にとって大切なものにな たか」「堂々と振る舞うことはで きました。「人前に立つとき、周 らないという思いをもつことがで 今までの自分を変えなければな のだろう」と悩むこともありまし くできず、「なぜうまくいかない したが、思った以上に演技がうま た。そのとき、自分を振り返り、 一月下旬から練習が始まりま

ろん、演技以外にも刀の抜刀の仕 自分の中に染み込んでいくよう で、とても楽しかったです。もち なせばこなすほど、桃太郎の役が それからの練習では、回数をこ

昨年の「楊貴妃と玄宗」な

がかりをつかもう、という考えに じて、自分自身の成長のための手 できていないのならば、演者を诵 う、普段、堂々と振る舞うことが たように感じました。そうである 行き着くことができました。 ならば、思い切り桃太郎を演じよ

方など、覚えなければならない

ことはありましたが、どれも私に とっては新鮮なものでした。 させていただくとともに、衣装の した。今回の構成吟では、主役を とができ、充実した体験となりま 演を通して、多くのものを得るこ チャリティーコンサートへの出

ていきたいと思います。 自身の成長のため、詩吟の世界で 支援いただきました。今後も自分 くなど、多くの方々から温かいご 人との関わり合いを一層大切にし 用意や演技のご指導をしていただ







初吟会に参加して 有朋支部 柿本みはる

備中央町長田ふれあいセンターに 平成三十年一月十四日(日)吉

> 返していく、というのが発表まで 開催されました。一年の最初の吟 おいて、鷺照吟詠会中山支部、北 吟ですね。 の「敦盛」が印象的でしたから選 のいつも通る道筋です。今年は、 を選んだことに少し後悔し始め は、練習を始めた途端に、その吟 しいひと時です。吟を決めた後に を、何をやろうかなと選ぶのも楽 んでみたのです。哀調のあるい て、また思いなおして練習を繰り 支部のお世話で、 「青葉の笛」を選びました。お能 今年も初吟会が

じ吟題を選ばれた方がおられ関 心を持って聞かせていただきまし ました。皆さん熱吟です。私と同 頂き、いよいよ吟詠の時間となり 北支部から甘酒による出迎えを なめながら、小旅行をしているよ 山から吉備中央町まで隣に座ら くのも楽しく感じます。 ました。ゆっくりと人の詩吟を聞 た。朗々と伸びやかな吟だと思い うな気分で現地へ到着しました。 れた鈴木先輩からいただいた飴を たが、当日は、晴天に恵まれ、岡 今年の冬は寒い日が続きまし

と思います。ありがとうございま された方たちは大変だったろう 等食べきれないぐらいあり、担当 をしながらの余興です。食事は、 した。余興は、有朋支部さつき教 御膳の他にサラダ、お漬け物、 そして、一番の楽しみは、食事 汁

ばれたり、一番楽しんでおられま

指輪作りに励んだり、着物を選

んは、当日はもとより、ダイヤの

ような気持ちで

す。当支部では

(5)

考え、皆で楽し

来年も出し物を

室から毎年、会長をはじめ会員の 原さんのお二人がノリノリで、出 どういうわけか、「何か劇をしま 生におんぶに抱っこ状態ですが、 いわれました。私はいつも内田先 を見て「柿本さんどうする?」と が無理ということで、皆が私の顔 京へ行かれるため初吟会への参加 内田先生がご長男の結婚式で東 露していましたが、今年は中心の 皆様のご協力も得て踊りをご披 決めたわけです。お宮役の藤原さ 来てくださっている竹内さんと藤 た。そうすると、うちの練習会に し物も貫一お宮の「金色夜叉」に しょう」とお応えしてしまいまし

平成二十九年度

前期・後期 競吟大会 【栄えある優勝者 喜びの声】

新人の部 中山支部 神﨑

温かい声に励まされ、楽しく吟じ の教室があるのを知り、学ぶこと 取先生、田中さん、教室の皆様の 縁あって京山コミュニティで詩吟 で暮らして居りましたが、四年前 うございます。四十数年間他県 ております。 に。今は亡き中田先生、現在は大 に私共の故郷である岡山に帰り、 優勝を頂きまして、誠に有り難 この度は思いもかけず新人の

ます。 無俗の心」その様な心根で皆様と 吟を楽しむ ように「年々善友を増し | 緒に学んで参りたいと思ってい 古稀偶感(その一)にあります 有始有終の美 日々清 無塵

吟で素晴らしい演技や衣装を始

吉備真備と阿倍仲麻呂等の構成

りました。会全体でも、楊貴妃や

顔を見せていただく良い機会とな

イと仲良くなれましたし、別の素 した。こういうのも、皆でワイワ

初段・二段の部 梢雲支部 塚本

吟だけでない楽

し遂げていかれるのを拝見し、詩 め、皆で協力して一つのことを成

吟詠会に入って しさをもつ鷺照

いるのが嬉しい

いから、と勧められるまま入会致 詩吟の知識は何もなく、健康に良 し、ただただ有難く、又、恐れ 入っております。四年前の六月に 一段の部で優勝という栄誉に浴 前期競吟大会、

> しましたが、カラオケにも疎い私 案の定、声は全く出ませんで

くお願い致します。 みたいと思います。

今年もよろし

れる発声法を次々と試して、身 心の隅で思いました。良いと思わ としたら私でも変われるかも、 も有難い事でした。 張ってきました。教室の皆さんの で大笑いしつつ、かつ、真剣に頑 体、手、お腹を使って、時には皆 色々と教えて下さるので、ひょっ 先生がとにかく熱くて、一生懸命 室に行く度に思いながらも、片岡 大の苦手で、私には無理だ、と教 「大丈夫!大丈夫!」という応援 人様の前に立って声を出 す等、 ع

致しております。有難うございま した。 師、良き友に恵まれ、心より感謝

三段・上級の部 有朋支部 池上

気が重たかったからです。 生から「今年の競吟大会に出て 会からしばらく遠ざかっていて、 みないか」と最初に聞かれた時、 のが私の返事でした。そういう機 「どうも気が進みません」という 私が通う公民館教室の多田先

員に近い状態から何とか抜け出 せ、詩吟を習いに通う回数も増え える時間が随分増えて、休眠会 年退職して以来、自分が自由に使 しかし、考えてみると去年に定

なことかもしれない、と思い直す ていたので、競吟に出るのも自然 ようになってきました。

を感じたこと、詩の内容があまり 選んだ理由です。 組みやすそうに感じたところが 揺り上げ部分以外は、吟法がシン に思えたこと、そして、出だしの 濃くなくて、淡々と吟じられそう とにしました。海の近くに住んで たが、「太平洋上有作」をやるこ は、他の吟題より私にとって取り プルに思えたことなどでした。要 いる私は、海に関する詩に親近感 今回の吟題は色々と迷いまし

陥っておりました。

感が発生するという困った状態に 通にやると、揺り上げた際に唐突 たった二語と少ないので、私が普 が、節回しに入る前の言葉数が

詩吟をこよなく愛する良き

練習では大きな声を出せる機

るだけ滑らかな吟になるよう努 だけ無理をせず発声するよう意 り返し頭の中で吟じてみて、でき と思うようになって、今はできる 後は聞きやすい吟にしてはどうか を過ぎた頃から、もう年だし、今 敗を繰り返しておりました。還暦 過ぎるところがあり、過去から失 い声を出そうと出だしから力み めました。私は昔からの癖で、強 会はなかなか乏しいのですが、繰

ちで、今はやっています。 うしても残りますし、幾分かの後 かいところまで丁寧にという気持 ろめたさも感じますが、その分細 にこだわってきたので、力みはど しかし、これまで高く強い発声

出だしが、なかなかうまくでき 点は、吟題の「太平洋上有作」の なかったことです。ここの吟法は 「爾霊山」の出だしと同じです

ま「仕方ないか」と諦めていまし てみました。 る直前にも軽い揺り上げを入れ です。本番では、揺り上げを始め 指摘を受け、やはり何とかしなけ 同じ教室の福田先生からそこの たが、大会間近の教室内発表で、 れば駄目だな、と反省したところ しかし、それを解消できないま

と、頭に血が上がってしまいます ね。考えた通りにはできませんで おりましたが、マイクの前に立つ け丁寧に」という思いで座って 「力むな、無理するな、できるだ 本番で順番を待っている時は、

と思いますので、どうか宜しくお 願い致します。 き、有り難うございました。今後 も上達を目指し努力していきたい 最後に、今回は望外の賞を頂

乃木希典の人となりに心を惹

また、今回の競吟で苦労した かれ、将軍三絶の一詩と言われる 有朋支部 出

「爾霊山」を選びました。「万雷

吟じました。 せて」と、塩田先生から何度も注 轟くような詩だから、息を溜め、 の向こうの壁に届けとばかりに 意されていたので、当日は、会場 丹田に力を入れ、バウンドを利か

澄ささえ感じさせられました。台 ルーのガラスの縦波は、 壮年Ⅲ部」と刻されています。 座には赤地に金の文字で、「優勝 上に旨酒の壺を掲げ、マリンブ 頂いたトロフィーは、少女が頭 詩吟の清

華頂 の部 瀬戸支部

棚田

公夫

もので、皆さんと笑顔の挨拶と、 又色々のお話も楽しいものです。 張ろうと胸を膨らませて参加し、 にて前期競吟大会が開催され、頑 年、一年過ぎるのは非常に早い そして開会の辞、審査規程等の 津島西坂労働福祉事業会館 成二十九年五月二十一日

良い様に思いました。 声練習室で練習をしていた方が もりで、会歌合吟を大きな声で、 味になり、私は当日発声練習のつ 強い詩吟をされ、少し私も緊張気 の方皆さん非常に素晴らしい力 と頑張ってみましたが、やはり発

は会歌合吟でしたが、最近は少し 力強い本能寺の吟を合吟して喉 瀬戸教室では、初めに発声練習

> 思いながら練習をしていますが、 気味になっていると思いながら、 競吟出番近くなると、少し緊張 生の指導練習の成果が出れば、と ています。競吟大会では、 をほぐしてから、各練習吟に入っ 吟じ終わってやはり自分の癖で、

ました。有り難う御座いました。 目ですが、頑張ろうと思います。 記念になりました。今後諸先生 では、華頂の部のプロ番号六番優 宜しくお願い致します。 方の指導を受け、年齢的に引け 勝と聞き、私事大変嬉しく良い そして、お待ちかねの成績発表 最後に会長さんの吟詠研修 素晴らしい吟詠の練習になり

俳句の部 梢雲支部

高の師に恵まれ、いつも笑顔の吟 詩吟の世界が充実の歩みへと導い 唄と踊りが大好きな女の子でし 友は私の宝物です。 てくれました。求めても得難い最 た。定年退職後の人生の隙間を、 唄は母親、踊りは父親譲りの、 竹内 悦子

説明の後、会員吟詠に入り、新人

導の程宜しくお願い致します。 生を惜しむかのように、力一杯鳴 に、吟ずる喜びを感じ乍ら、これ からも精進して参ります。御指 吟ずるは力に、吟ずるは優しさ 庭で蝉が鳴いています。短い

いています。

合吟の部

そんな私たちの共通点は、詩吟が 学業の専門も何もかも違います。 中で、先輩方の人柄や部の雰囲気 か、岡山の地に集い、出会いまし と少したちました。みんなの出身 私たち六人は個性豊かで、趣味も に惹かれて吟詩部を選びました。 地はばらばら。何の因果でしょう 大好きなことです。 た。岡山大学の多くのサークルの 私たちが詩吟を始めてから一年

がっかりでした。

先生の注意通りに出来ておらず

くお願いします。 ますので、今後ともどうぞよろし も日々切磋琢磨して精進していき 勝させていただくことができ、大 私たちは少々苦戦しましたが、優 十本で行いました。慣れていない 行っていますが、今回の大会では 変嬉しく思っています。これから 私たちは普段、十二本で合吟を

連吟の部 優勝

久しぶりに競吟大会に参加で

総楽支部

剣持

和江

集い参加復帰もまだ数える程。 しています。ここ数年は教室練習 います。特に連吟に誘って下さっ た相方の空さんにはとても感謝 きたことを、とても嬉しく思って 、の出席率向上のみを目標とし、

競吟参加は来年から、、、という

した。普段緊張から来る力みが一

の録音を聞いてもまだまだ及ばな

座っている吟友のご縁で連吟練習

吟詩部

和歌の部

を抜いて参加することが出来ま 賞を授かり、光栄に思うととも 方に厚くお礼申し上げます。 に、日頃からご指導下さる緒先生 この度は和歌の部でこのような 後期大会は良い意味で肩の力 岡南支部 内座由紀葉

を再開しました。 つもりでいましたが、教室で隣に す。 切なく、やりきったように感じま

です。長い間の練習不足がたた ました。二人で吟じて楽しかった フィーまでいただけるというあり とができました。そして優勝トロ 二十九年の後期競吟大会では二 すべきところが多いですが、平成 り、声は安定感が欠けており直 吟ができることのみを思い吟じ していましたが、気持ちの良い連 人で吟ずることの喜びを味わうこ がたい体験でした。 当日は、二人ともかなり緊張

さんに感謝いたします。今後も精 指したいと思っています。 るよう練習を続け、いい連吟を目 います。今後も声がもっとよく出 て初めて一つの吟となるように思 感謝とさせていただきます 進を続けることで皆様へのお礼と 連吟は、吟力と二人の息が合っ 最後に、ご指導下さった田辺先 温かく応援下さった教室の皆

> たれた和歌に少しでも近づくよ ことを意識しました。また研修時 過ごしておりましたが、再び同部 場した際には、最後までペースを や大会で耳にした、印象に残って に出場する機会を頂き、改めて 和歌には苦手意識を持ったまま 掴めず、不完全燃焼だったため、 いる和歌を思い返し、その時心打 た。まず歌にある情景を浮かべる 和歌と向き合う時間を持ちまし 十年程前、 初 めて和歌の部で出

ていきたいと思います。 たものを、これからの吟に還元し 今回の和歌へのチャレンジで得

うイメージして練習しました。

最上級の部

発声で吟じるには、定期的な練習 とが多く、無理して声を出そうと 階では、なかなか調整できないこ て練習をしてきました。自分の声 た、詩情や自己の気持ちを表現す が必要だと改めて感じました。ま を維持しながら腹式呼吸による すると喉をしめて声が出なくな の吟をまねることも大切と考え るために、先輩方によるあこがれ ることがありました。持てる体力 ただき、感謝しています。練習段 昨年度に続き、身に余る賞をい 有朋支部 木谷 大

後もしつかり精進していきたいと いと感じているところですが、今

思っています。





壮年二部 い競吟大会」壮年二部に於いて優 去る四月九日、「白鷺吟詠の集

スは一路高槻現代劇場へと! 勝の栄を戴きました。 合場所より西口、山陽町を経てバ 当日は夜来の雨も治まり、 集

でした。 も一句捻ろうとかと思う程の眺め あいを立ち上がり、俳人ならずと やかに流れ、雨上がりのガスが山 で、山桜、躑躅(つつじ)と色鮮 車中よりの景色は中々のもの

央の先生は、吟の途中何度も頷い を臨むことが出来ました。特に中 る事もなく、前列の審査の先生方 いる」と思いました。 て下さったのが嬉しく、 会も進み、いざ出番です。上が 「届いて

3=

ヨ」との助言を戴き、目が覚めま 隔膜へ当たらない声は感動も無い 思っておりました。ある時、「横 声に憧れ、何とか良い声をと常々 した。頭声ばかりの勉強をしてい た様に思います。 私は自分の声が大嫌いです。美

する事なく精進したいと思いま と思い直し、今回の御褒美に満足 れることもありますが、今が青春 せめて十年若かったらと悔やま 競吟大会に参加して 白さぎ吟詠の集い 厚く御礼申し上げます。 恩師を始め、吟友の皆様方に

最上級 の部

中山支部

大倉美恵子 因は?と考えると、量ではなく質 ながら思っています。それでも勝 りませんでした。これを機に真の ぬ努力を重ねているわけでもあ えず、さりとてコツコツとたゆま 思っております。私は、発声もス を頂き栄誉なことと思う反面、 実力をつけなければ!と遅まき ムーズでなく、節調が巧みとは言 実力以上の結果を恥ずかしくも **僥倖な事に最上級の部で優勝** 梢雲支部 中山

と。 ことも幸運でした。 こと。マイクに上手く声がのった す。そして当日は、無欲であった 信が出てきたことも考えられま に、ずっとコンプレックスを持っ 自分の吟詠のイメージを作ったこ ていた「ア」の発声に少しだけ自 また合吟の練習を続けるうち

みました。決勝はもう一度この舞 藤井竹外の旧居跡があり、隣はキ 分でも予選が終わった後で訪れて ら右近のお守りカードを頂き、自 右近の教会です。合吟のお仲間か リシタン大名として知られた高山 台で吟ができると、高揚した嬉し

理恵 て言えるよう、精進致します。 ぬ努力のおかげです!と胸を張っ 出てきますね。今度こそ、たゆま うです。色々なことが上手く作用 珍しく伸び伸びと吟じられたよ い思いで舞台に立ち、私にしては でしたし、また頑張ろうと元気も 様や家族・友人たちの祝福は光栄 した幸運な結果とはいえ、会の皆

なご指導によりポイントを絞って れは大取先生や内田先生の的確 の良い練習ができたことかと。こ 奏と吟詠 約百三十名が受講されました。 リフォルニアより御夫婦で参加 参加となりました。中には米国カ 阪にて開講され、私自身二度目の 吹田市のパナソニックリゾート大 に参加して

会場の高槻現代劇場内には、

平成二十九年吟道大学講座

平成二十九年吟道大学講座が、 去る二月三日・四日の二日間、 総楽支部 林原 茂樹

ました。

と盛り沢山、充実した内容で、プ き締まる思いがしました。 演二題、秀詠グループによる吟詠 句・吟詠・発声の各研究五題、講 ログラムを手にした瞬間、気が引 さてプログラムですが、琵琶演 一題、新体詩・和歌・俳

頂きました。 言を大切に発声する様にと指導 歌・俳句については、言葉一言一 唄って下さいました。新体詩・和 歌と吟を交え、哀愁深く朗々と は細川ガラシャ夫人を題材に、和 松尾佳恵先生による琵琶演奏

> 液が洗い流され、かえって発声の がい」をし、発声がうまく出来な 曙冽先生は、御自身の失敗談とし も素晴らしく、大変勉強になり 詠グループの先生方の吟詠はとて 障害になると指導されました。秀 かった。少し喉を潤す程度なら良 きました。発声研究の講師藤本 声すると効果が有る、と教えて頂 える為に「ぱたから」と何度も発 へ発声する時に生成される潤滑 いが、何度も行うと、声帯が振動 て、吟詠を始める前に何度も「う 又、古賀千翔先生より、舌を鍛

と思える、長谷部剛教授による、 道大学のメインテーマではないか 致します。 日間の研修会でした。来年も参加 銘を受けました。誠に充実した二 細かく説明して頂き、非常に感 の数々の詩より四題選ばれ、詩を 作った時期・思い・詩の意味等を 「唐詩を旅する」と題し杜甫作 最後に、私自身、これこそが吟

旅」に参加して 海外移動教室「北京の五つ 世界遺産と吟詩交流 0)

有朋支部 河原

の会員三十三名が集合し北京へと 西国際空港に関西吟詩文化協会 向かった。 平成二十九年五月十六日、関

り、工場の操業が全面ストップさ 間。北京の空は青く五月晴れ、空 いう幸運に恵まれた。 れていた。私達は旅行中、 気も澄んでいた。前日まで【一帯 路】の国際会議が開催されてお ・青空と

門から故宮に入った。一四二一年 界遺産『故宮博物院(紫禁城)』 を見はり歴史に思いを馳せなが の傑作である。暫く古の世界に目 世界的にも比類のない古代建築 んだ。故宮は広いのである! の歩数計は一万歩よ!」と声が飛 抜けて神武門を出た。その時「私 ら歩を進め、幾つかの門をくぐり 国宮殿建築の粋であると同時に 務と生活居住の場所であった。中 あり、両王朝二十四人の皇帝の執 に創建され明・清両王朝の皇居で に向かった。天安門広場を抜け午 十七日八時にホテルを出発、 世

新学校であった。到着すると関係 場は首都師範大学付属回龍観育 沿って七二八メートルもある。 れたと言われる回廊が昆明湖に る仏香閣や西太后が朝食に通わ 庭園である。塔式の宗教建築であ も無傷に保存されている皇室の 熱い歓迎を受けた。中国語と日本 者や小学生達の可愛い明るい熱い との吟詩交流会】が行われた。会 た。現存する中国最大規模且つ最 次に世界遺産『頤和園』に行っ 十六時からは【中華吟誦学会

が準備されていた。 語の立派な节目表(プログラム)

関西空港から北京空港迄三時

吟・踊りを交流した。 は関西吟詩文化協会会長の挨拶 の吟誦、論語の吟誦、琴と歌。中 介をした。次に中国と日本交互に と日本に於ける詩吟の歴史の紹 育新学校長の挨拶があった。日本 院長や首都師範大学付属回龍観 中国側は、大学生の詩経の吟 首都師範大学中国国学教育学 漢詩の吟誦。小学生の三字経

に胸を打たれた。 あり、若さが漲り真摯に演じる姿 中国の詩吟は軟らかく優雅で

誦 込まれ教育されているそうであ 近年、国策で論語と漢詩 が小学校から教科書に盛り 吟

る

が伝わったかな? 練習したのだが、うまく漢語の吟 吟した。バスの中で漢語の吟を猛 を袴姿も凛として朗々と吟じ、続 く独吟・連吟には扇舞・舞と美し い着物姿や袴姿で演じた。全員で 「送元二」を中国語(漢語)で合 日本側は山口会長が「涼洲詞」

派な「中国漢詩書」等が贈呈され 握手が交わされ、中国側から立 時からの日中友好は途絶えるこ 閉会の挨拶に「李白・仲麻呂の当 とはないであろう」と暖かく強い 交流会は三時間近くに及んだ。

た。日中双方の「お土産」交換も

うだ。 城』に向かった。市中からバスで 本一本植樹され現在の緑があるそ であり、急峻な山肌には樹木が一 嶺長城は一番良く整備された長城 時間余りの北西部にある、八達 十八日は世界遺産 『万里の 長

しいと言われる景観の一つが目に 男坂を登った、私も加わった。急 ンザーイ!」…世界で最も素晴ら 勾配の石畳の坂やアップダウンす れ八達嶺長城を登る。十名ほどが る階段を登り頂上に着いた。「バ 飛び込んだ。遥か遠くまで続く世 バス停から男坂と女坂に分か

学生の詩経や漢詩の吟詩、

舞踊詩

吟、先生の琴演奏と吟、等々。

そうだ。空の青さと吹き上げてく 流れと人の知恵と汗と涙の結晶 る青い風に我に返った。 倒された。宇宙から肉眼で見える 達嶺長城に立った時、悠久の時の メートル余もある。その一部、 上に亙り造成され、 《歴史に残る人為的な遺産》に圧

見学した。地下玄宮も観光客に 十三人の皇帝陵墓)の一つ定陵を 午後は、世界遺産『明の十三 (明朝が北京に遷都した後の

物群で明・清一 かつ最も完璧な古代の祭祀建造

た)。廟の前庭は見学する小・

時代から明代まで二三〇〇年以 界最長の石垣、即ち古代防御壁 に驚愕した。紀元前七世紀の春秋 六〇〇〇キロ うだ。

十九日は天壇飯店(宿泊ホテ

り》五穀豊穣を祈る場所であっ 内で律詩「過零丁洋」を合吟し 次に『文天祥廟』を訪れた。 一王朝が《天を祭 廟

なる歴史を感じた。

まれた進士題名碑もあった。悠久

四七九年、山東省曲阜に生まれ た。展示物の説明を聞いているう れた。(孔子は紀元前五五二~ 書物を読んだであろうと想像し 覚〉に襲われた。松陰は文天祥の ちに〈吉田松陰がここに居る錯 次に『孔子廟と国子監』を訪

典が行われるそ 中学生で埋まっ あった。毎年式 為の楽器などが 祀られ、祭事の や弟子の位牌が ていた。主殿の 大成殿には孔子

典である「十三 刻んだ儒教の経 中国における最 高学府。楷書で 国子監は古の



ル)に近い世界遺産『天壇公園 文字にもなると あった。その数 経」の石碑林が にして六十三万 九〇個、文字

期待が膨らんだ。

を見学した。現存する世界最大 五万人以上の名前と出身地が刻 元・明・清の時代の科挙合格者 の試験勉強をしたそうだ。又、 いう。 当時、これに基づき科挙

にして最高の旅をした。 字の説明があり、充実した時を過 じた。又ガイドの説明も宛ら、ツ は、行く先々に関係する漢詩を詠 旅はまたとないであろう。 アー会社の社長の補足や簡体文 ごした。今回のような素晴らしい スケジュールを巡るバスの中で 八十路

トワイライトエクスプレス 「瑞風」 の旅

に七月十日出発の上り山陽コース などきめ細かなお知らせの度に アレルギー、観光地の案内DVD も)荷物、ドレスコード、 封書が届き(もちろん代金請求 まで毎月瑞風エンブレムの入った から期待はしなかったが、二月末 月にデビューのJR西日本の豪華 日の競争倍率は二十五倍という の平均当選確率五・五倍。運行初 で定員三十四人。六~九月出発分 寝台列車に応募した。十両編成 真珠婚のプレ祝いという事で、六 泊二日の当選通知が来た。出発 主人の勤続三十年と私たちの 総楽支部 窪田 食事の 昌子

(9)

ちの部屋へ案内され十時二十八分 駅長と記念撮影。乗車手続き後、 るのか?親しくなったらお部屋に 備えてあり、どんなお金持ちが乗 グ・ダイニング、エントランスが 付きのバスルーム、寝室、リビン 両一室の広いスペース。バスタブ に七号車は「ザ・スイート」。一 は金色の流線形の五本のライン 想像を膨らませた。出発前に下関 招いてくれるかな?なんて勝手に が重厚で格好良く輝いている。特 奮。特徴である展望車のデッキに ムにはあの瑞風がいた。もう大興 八〇三号室ロイヤルツインの私た

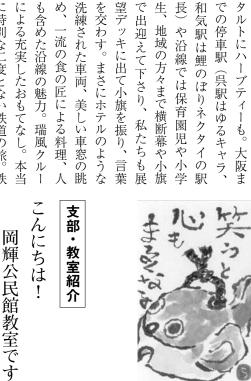
国五県の天然木を使用。 ら車窓を楽しめる。 グとして、左右両側の大きな窓か 納式のベッド。昼間は広いリビン 内には沿線の伝統工芸品(萩切子 グラス、 車内も超豪華。車両の壁は中 備前焼など)が並ぶ。収 通路や室 肌で味わい堪能した。夜はラウン ながら、同行の方々と瑞風談義を オリンとビオラの生演奏を聴き ジカーのバーカウンターでカクテ ル、ワインなどが飲み放題。バイ したり、クルーと写真に納まった

ち寄り観光地は宮島。宮島口駅 せ。もう二人では食べきれないほ 貝のスープ煮、アイスの盛り合わ 焼き穴子と夏野菜の酢もの、小 からフェリー乗り場までは目と鼻 から下関までお連れしてお点前 瑞風茶会。裏千家の先生を京都 ど。次は五号車ラウンジカーでの 食。広島の郷土料理「穴子飯」。 とは贅沢な一服。そして最初の立 すぐに六号車食堂車での昼 についた。 りした。夕食中にベッドメイキン ワーに感激し興奮したまま眠り グされていて、列車内での初シャ

出発当日。下関駅の九番ホー 祓殿で「祇園精舎」他、琵琶の生 関から来たという。三時間四十五 このバスもまた列車と並走して下 細なお味で品数も多く、眼や舌、 付、焼物、強肴、水物とある。出 の伝統的な京料理をアレンジし セミフォーマルの装いで。菊乃井 り三十分もすると今度は夕食。 載の貴重な宮島だった。車内に戻 演奏を鑑賞する。通常非公開の 前を読み上げてのご祈祷。その後 着て玉串を捧げる。一人一人の名 の先。ところが瑞風バスに乗車。 された鍋や器まで感嘆の連続。繊 た日本料理。お品書きに八寸、向 宝物収蔵庫も見学し、特別感満 イートの二人は白い裃の上衣を 分の滞在。神職の案内で参拝。ス

赤、 ラダ、スープ、ポークステーキ、 ジメ」の朝食を六時に。パンにサ シェフに選ばれたレストラン「ハ コーヒー。さらにご当地のトマ 二日目は世界を代表する百人 肖 キャンベルのジュースや スパークリングワインま

> 理に五種のドリンク。続くアフタ バー。 ながる水盤。リボンチャペル。 る。この日の立ち寄り観光地は ングの方まで瑞風に手を振ってい ヌーンティーでは六種のケーキや ルーザーで。もう新婚旅行?気 カロンにチョコレート、ドリンク ナ尾道」。デッキ中央には海につ ホテル「ベラビスタスパ&マリー 分。昼食は自分達の部屋で西洋料 私たちも食べながら手も振 外を見ると通勤通学、ジョギ 行きは瑞風バス、帰りはク



望デッキに出て小旗を振り、

向きに取り組もうとの賛同を得 室を開設出来ないかと、大取先生 のお友達のために地元で詩吟教 麗さんが、詩吟に興味を持つ近所 て開設準備に着手。近くの岡輝 [月に発足。中山支部の虫明鷲 詩吟普及のためにも前

絵手紙

江陽支部 畝木 千昭

して承認されました。

公民館に何度も足を運び交渉を

し、二〇一四年度のクラブ講座と

る。

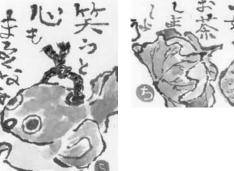
で。



名のメンバーで吟詠を楽しんで の増減もありましたが、現在は十 座等のPR活動も奏功し、途中で 出来るまでになりました。公開講 岡輝公民館祭りには実技発表が

タートでしたが、その年十一月の

大取先生を含め七名での



当教室は白鷺連合会機関誌

ご夫妻です。夫唱婦随か婦唱夫 中)と、一昨年から入られた桂木 に加えて詩吟と、ご夫婦で共通の 随かの詮索は別として、カラオケ です。発足当初からの戸井ご夫妻 べきは、ご夫婦が二組おられる事 は省略させて頂きますが、特筆す は羨ましい限りです。 趣味を持って楽しんでおられる姿 いますので、メンバー個々の紹介 (奥様は体調の関係で現在休止 『白さぎ』四十九号で紹介されて

れば是非教室に遊びにおいで下さ 日の十時~十二時です。機会があ 練習日は毎月第二・第四土

道を愛する撮り鉄、乗り鉄の主 に特別な二度とない鉄道の旅。

鉄

人にひたすら感謝、

岡輝公民館教室は、二〇一四年

中山支部

河田

博行





平成二十九年度

競吟大会

	平成
労働!	二十九年
福祉事業	五月二十
会館	日

入 三 準 賞 位 勝 賞 位 福森美津子 田中 好子 壮年Ⅱ部 惣爾

準優勝 優勝 内 山 座 田 弘子 (有朋) (岡南)

新 人 の 準 優 勝 勝 勝 部 宮田 安部多津子 (吉照) (岡南

棚田

公夫

(瀬戸

神崎

中山

初段・二段の部 三準優 優 位 勝 勝 佐藤 北村 中山 (岡南)

優勝 池上 級の部 三 位 石原エミ子 準優勝 平田 三男 (吉照)

位	位	優勝	勝
虫明	近藤	木南	池上
節子	洋平	春樹	茂
中山)			(有朋)
	虫明 節子(中	虫明 節子 (中近藤 洋平 (有	位 虫明 節子 (中位 近藤 洋平 (有勝)

平成二十八年七月九日

労働福祉事業会館

奨励賞

(岡大)

連吟の部

富美子

準優勝 \equiv 位 安田 雅次 (岡大)

中山山

中山

入 Ŧī. 貨 (中山) (田大)

次 三 準 点 位 勝

公夫

(瀬戸)

(総楽

大倉美恵子

林 棚原 田



次 準 優 **吟**

三	準優勝	優勝	和歌の部
土井	虫明	内座由	
影子	節子	田紀葉	
	中山	(岡南	

欠	五.	四	Ξ
点	位	位	位
中尾	藤原美	難波	土井
彩 子	大喜 夫	正敏	彰子
(古昭)	(江陽)	(東風)	H

勝	の 部	A
竹内		
悦子		5-
(梢雲)		

矮勝	勝
大倉美	竹内
天恵子	悦子
中山	(梢雲)

河原 (有朋)

幼少年の部

和江 (岡大) (総楽)

立		1
鈴木	岡田	Í
— 子	正和	1
(江陽)	(総楽)	イダオンラ

Í		位	
宇主	佐藤	虫明	7
딾	昌子	節子	
	中山	中山	1

	点	
神崎	田中	I
和子	好子	= 7
(中山)	中山	Į.

	点
神崎	田中
和子	好子
(中山)	
	和子(中

	点
神崎	田中
和子	好子
(中山)	中山

ß		点
	神崎	田中
	和子	好子
	(中山)	

勝	部		J
落合雛		神崎	
代		和子	1
他(中	1
(岡大)		Щ	ĺ

勝	勝	部	
田中好	落合雛		神崎
子	代		和子
他	他		中
中山)	(岡大)		<u>Н</u>

ì				
勝	落合雛代	他		***
勝	田中好子	他	中山	
点	近藤憂紀	他		

点	勝	勝
近藤憂紀	田中好子	落合雛代
他	他	他
(岡大)	(中山)	
		:#

-	慢勝.	勝	
	虫明	内座由	
	節子	紀葉	
	中山)	(岡南)	

Д.	<u> </u>	_	华
位	位	位	腰勝
藤原美	難波	土井	虫明
 	正敏	彰子	節子
(江陽)	(東風)	北	中山

邹	点	位
	中尾	臣
	~ 栄子	天喜夫
	(吉照)	(江陽)

位	勝	形
池上	大倉美	个户
澄子	天恵子	恒于
(吉照)	中山	(村雪)
_	<i>:#</i> -	ľ

次三準優 6 次

(岡南)

(総楽)

西本真由美

(総楽)

柿本みはる

四

芳 遥

神崎	田中	山田
和子	好子	芳
中山	中山	(岡大)
三位	準優勝	師範代の
		部

準優勝

Ē			
Ē	次	三	準層
Ē	点	位	優勝
h	竹内	近藤	木南
	悦子	洋平	春樹
	(梢雲)	(有朋)	(中山)

他、入賞者多数

師	次
範の部	点
마	竹内
	悦子
	(梢雲

総楽	美子	空富	勝 (
		-	心が	叩危
(梢雲	悦子	竹内	点	伙

|総本部 新人中間層競吟大会

平成二十九年十一月十二日

エーリック

六七八十 段段段段

田河中田

(中山)

E	懓	節範	()\
でとう	勝	れの部	点
ゴンゴン	空	마	竹内
<u>-</u>	富美子		悦子
	(総楽		(样雲

三	準優
位	勝
岡田	鈴木
正 和	子
(総楽)	(江陽)

Î.
]
]
\J. 1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \

和歌一・二の部 次 四 好子 (中山)

上 級 の 部

耕二(岡南

次	準原	優	1
点	優勝	勝	
中尾	虫明	大倉美恵子	i
栄子	節子	大恵子	
(吉熙)	中山	中山	

■総本部 全国指導者級吟士権者

Ŧī.

段

濱田

通南 琥真 優照 咲声

青木

藤原

決定吟詠大会

平成二十九年十二月十日

竹内

林原尾

樹丘 和子

高槻現代劇場

次点	1
中尾	
栄 子	
(吉照	

次点	当任
中尾	
栄子	
(吉照)	

溪	権	1)\
勝	惟の部	点
木谷	마	中尾
秀史		栄子
(有朋)		(吉照)

次	\equiv	準原	優
点	位	優勝	勝
坂 本	内座由	中山	木谷
朋義	田紀葉	理恵	秀史
(岡南)	(岡南)	(梢雲)	(有朋)

準師範の部

入

賞空

富美子

(総楽)

三四

段段

(岡大) (岡大) (梢雲) (総楽) (総楽) (梢雲) (江陽) (総楽) (岡南) (総楽)

■岡山県連合会競吟大会

平成二十九年八月二十日 労働福祉事業会館 ■白さぎ吟詠の集い 競吟大会

平成二十九年四月九日

平成二十九年度

高槻現代劇場

慶祝・吟功賞・昇格・昇段

上 級 の 部

初級の部 次 準優勝 神崎 山本 (中山) (岡南

最上級の部

内座由紀葉(岡南)

(敬老祝)

優勝

中山

理恵

(梢雲)

和歌の部

準優勝

富美子

(総楽)

米寿

藤野

難波

立耀 富嶽

(東風)

(中山)

優 勝 平田 三男

カ	次点	優
	太田	虫明
	俊六	隆二
	(梢雲)	(梢雲)

の部	点	優勝
	太田	虫明
	俊六	隆二
	(梢雲)	(梢雲)

	太田	虫明
	俊六	隆二
	(梢雲)	(梢雲)
準層	優	壮 年
優勝	勝	部

(中山)	(岡南)		(梢雲)
優勝	壮年二部	準優勝	優勝
大倉美		太田	石原ヱ

(梢雲)

(昇格)

石田

燃照

(中山)

河田

(東風)

(梢雲)

高師範

弘声

(理大)

(吟功賞)

Ξ	合吟の	四
位	部	位
内田順		田中
子		好子
他		中
(有朋)		Щ Щ
準師節		

中山山

内田順子	
他	
(有朋)	
準師祭	

	準師範	
NET Y	常松	生明
七卦一一	鷲宗	鷲
	(梢雲)	(中山

 		節範
林原	安藤	常松
樹 丘	鷲正	鷲宗
(総楽)	(中山)	(梢雲)

	代	
中尾	林原	
和子	樹丘	
(総楽)	(総楽)	,

(昇段)

初

段

公認 鷺照吟詠会 教場一覧

市町村	支部名	教場名(教室名)	場所	開催曜日·時間	開催回数 (月)	講師(問合先)
岡山市	岡山大学吟詩部	岡山大学吟詩部	岡山大学新BOX棟	毎週 水・土曜日	8回	木谷睨秀
[m] [T] []1	岡田人子吟詩部	岡田八子写时前	(岡山市北区津島中1-1-1)	12:30~16:00	8凹	
	IZI (相参学	カラオケ かじゅありー	第1.3.4 月曜日	olei	武川琥照
	岡山岡南	楓教室	(岡山市南区築港緑町14-1)	19:00~21:00	3回	C
	ᄧᄼᅜᅏᆂ	M = # =	岡山市立岡南公民館	第1.2.3 火曜日	0	坂本繃照
	岡山岡南	岡南教室	(岡山市南区若葉町22-16)	13:00~15:00	3回	LOU 201 0101
	四日中本書	和茶亭	岡山市立旭公民館	第1•2•4 月曜日	olei	片岡慧照
	岡山梢雲	旭教室	(岡山北区広瀬町3-26)	9:30~12:00	3回	Coo = 10 1000
	岡山梢雲	高島公民館教室	岡山市立高島公民館	第1・3 木曜日	2回	中山曈伸
	岡田作去	同岛公氏路教主	(岡山市中区国府市場99-5)	13:00~15:00		CCC 200 2000
	岡山梢雲	平野教室	北平野集会所	第2.4 水曜日	2回	深井耀照
	岡田衎云	干野教主	(岡山市北区平野1014-5)	14:00~16:00	214	VOV 400 4041
	岡山瀬戸	瀬戸教室	菊山公会堂	第1・3 木曜日	2回	石原虎照
	四口很厂	限厂教主	(岡山市東区瀬戸町菊山)	19:00~21:00		
	岡山総楽	庭瀬教室	吉備公民館	第2.4 日曜日	2回	片山鷺丘
	岡田松米	建 傾叙主	(岡山市北区庭瀬416)	15:00~17:00	215	
	岡山中山	一宮公民館教室	岡山市立一宮公民館	毎週木曜日	3~4回	大取鷲照
	岡田十田	一呂公氏明教主	(岡山市北区一宮638-1)	19:00~21:00	3.04回	\J
	岡山中山	京山公民館教室(夜)	岡山市立京山公民館	第1.3 金曜日	2回	大取鷲照
	岡田十田	京山公氏語教至(校)	(岡山市北区伊島町2-9-38)	19:00~20:30		
	岡山中山	京山公民館教室(昼)	岡山市立京山公民館	隔週 金曜日	2回	田中咲声
	岡田十田	京山公氏路教至(全)	(岡山市北区伊島町2-9-38)	13:00~15:00		
	岡山中山	岡輝公民館教室	岡山市立岡輝公民館	第2.4 土曜日	2回	大取鷲照
	岡田十田	则 牌公氏	(岡山市北区旭本町1-80)	10:00~12:00		000 207 1010
	岡山東風	東風教室	済生会フィットネス&カルチャークラブ	毎週 金曜日	4回	片山鷺丘
	岡田東風	未風牧主	(岡山市北区昭和町12-15)	13:30~15:30	4111	boo 202 0000
	岡山有朋	公民館教室(昼)	岡山市立操山公民館	第2•4 月曜日	2回	塩田露照
	岡田伯加	公氏語教主(生)	(岡山市中区国富3-9-12)	13;00~15:00	215	VOOD 01 2000
	岡山有朋	公民館教室(夜)	岡山市立操山公民館	第2·4 火曜日	2回	多田葦照
	阿田石石加	五八品教主(仅)	(岡山市中区国富3-9-12)	18:30~20:30	20	laa <u>-</u> .a aa.a
	岡山有朋とつき教室		岡山市立岡西公民館石井分館	第1.2.3 水曜日	3回	内田菖照
	阿田石石加	でラグ教主	(岡山市北区昭和町1-5)	19:00~21:00	SEI	600 000 0000
	岡山理大 谷万成教		谷万成教室	第1.3 木曜日	2回	平松弘声
	岡田建八	777,40.40	岡山市北区谷万成2-6-41	13:00~15:00	212	V
	岡山理大	理大教室	理大教室	毎週火又は水曜日	4回	平松弘声
	内田生八	·1/\3/1	(岡山市北区理大町1丁目)	16:00~19:00	1 1:21	600 201 1101
赤磐市	岡山江陽	山陽教室	赤磐市立中央公民館	第1・3 土曜日	2回	永井厳照
74 70 117	1 31 112120		(赤磐市下市337)	10:00~12:00		000 .5 5.50
瀬戸内市	岡山梢雲	邑窓教室	瀬戸内市立牛窓公民館長浜分館	第1・3 土曜日	2回	片岡慧照
	1 11 11112		(瀬戸内市牛窓町長浜3490-1)	9:00~12:00		000 210 1000
玉野市	岡山岡南	山田教室	山田教室	第1•2•3 月曜日	3回	武川琥照
	1-0 1-0 110	INTO PROSE	(玉野市梶岡701)	13:00~15:00		000 201 2010
吉備中央町	岡山北 岡山吉照	長田ふれあいセンター教室	長田ふれあいセンター	第2・4 火曜日	2回	岡田学照
		2,2,1,000,000,000	(加賀郡吉備中央町富永1403-1)	19:00~21:00		
		吉照 吉川公民館教室	吉川公民館	第1・3 木曜日	2回	新池亥照
			(加賀郡吉備中央町吉川3930-8)	20:00~22:00		当川の000 00 01.0
総社市	岡山総楽	総社教室	総社公民館	毎週 木曜日	4回	田辺通照
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(総社市中央3丁目1-102)	19:00~21:00		000 201 0011
倉敷市	岡山総楽	大島教室	大島会館	毎週 火曜日	4回	片山鷺丘
		,	(倉敷市大島532)	19:00~21:00		000 <u>202</u> 0011
兵庫県	岡山総楽	岡山総楽神戸教室	六甲勤労市民センター	第2.4 土曜日	2回	田辺通照
神戸市			(神戸市灘区深田町4-1-39)	14:00~17:00	. –	luu - uu uu

平成30年度鷺照吟詠会年間事業計画

	鷺照吟詠会									
月		一		岡山県連合						
30/	4	⑦常任理事会								
3	-	(予算・決算)					10	理事会		
	25	30年度総会					25	幼少年青年部大会	25	総会(天神山文化プラザ)
	15	①常任理事会			8	競吟大会	7	理事会		11.5 221 (7111111111111111111111111111111111
4		(後期競吟・集い)								
		会報発行					21	理事会		
	20	前期競吟大会	20	①研修会	12	総会	13	研修会(新教本)		
		(労働福祉事業会館)					14			
5	"	②常任理事会					~	海外移動教室		
<u> </u>							19		i	
							25	理事会		
	3	吟行会					2	総会		
6							10	特別研修会		
							16	理事会		
							14	理事会		
7	29	③常任理事会	29	②研修会			15	昇格試験(師範・準師)		
	"	合同昇段試験					22	昇格試験 (師代)		
	11	クラウン競吟大会					4	理事会	19	競吟大会
8		(JA岡山)					19	吟詠普及研修会		(天神山文化プラザ)
								(岡山)		
	16	④常任理事会	16	③研修会			2	研修会 (師範)		
9		(集い)		(師範)			9	碑前際 研修会		
							15	理事会		
	14	後期競吟大会	14	④研修会			İ			
10		(天神山文化プラザ)							13	85周年近畿地区
10	11	⑤常任理事会					21	85周年近畿地区	i	リハーサル
		(集い)						(アルカイックホール)		(天神山文化プラザ)
	11	岡大60周年大会			23	交流会	11	新人・中間層大会		
11	25	集い					17	理事会		
		(岡大50周年記念館)					25	研修会(準・師代)		
							9	準師・師代・		
12								吟士権者大会		
							15	理事会		
31/	14	初吟会			12	新年互礼会	12	理事会		
1							13	新春吟詠大会		
	10	⑥常任理事会	10	⑤研修会			2	吟道大学		
2		(事業計画)		(準師・師代)			~3			
		チャリティーコンサート								
	3	⑦常任理事会	3	⑥研修会						
3		(予算・決算)					24	青年部大会		
	31	総会							31	総会

面を作っていけたらと思います。せ下さい。皆様と一緒に楽しい誌意見、ご感想などお気軽にお寄う回の誌面に関する様々なご

呼びかけにお応え頂き、詩吟以

外の記事も掲載することができ

夢って参りました。今回はその 夢って参りました。 学に一安心しているところです。 お忙しい中、原稿をお寄せ頂き、また写真掲載の許可を頂い を活かし、行事終了次第、感動
皆様のお手元にお届け出来、ま

も日程通りの発行となり、無事度がスタート致しました。会報会で一年の計画が決定し、新年

るかと思います。

さて、我が会も先日の理事総

生活をスタートする方もおられ

転勤など、新たな気持ちで、新

家族の入学卒業、引っ越し、

した。 与年は例年以上に桜の開花も

